



東松島市 人口ビジョン 第2期総合戦略

(令和2年度～令和7年度)

概要版



令和2年4月
宮城県東松島市

東松島市人口ビジョン・第2期総合戦略について

東松島市では、全国的な人口減少社会が到来する中、本市における人口の維持及び減少緩和に向け、2015年度（平成27年度）に「東松島市人口ビジョン・総合戦略」を策定し、震災復興とともに、産業振興による雇用の場の創出、子育て・教育支援環境の充実などの取組を進めてまいりました。

これらの取組によって、本市は、2018年（平成30年）6月15日、持続・発展可能な開発目標（SDGs）達成に向けた先導的自治体である「SDGs未来都市」として、全国29自治体のひとつ、東日本大震災の被災3県では唯一、政府から選定され、震災復興のトップランナーを目指しつつ、将来を見据えた持続可能なまちづくりのために様々な取組を進めております。

この東松島市人口ビジョン・総合戦略は、第1期の計画期間が2019年度（令和元年度）で終了することから、この度、2020年度（令和2年度）を初年度として、東松島市第2次総合計画と同様に2025年度（令和7年度）を目標年度に置く「東松島市人口ビジョン・第2期総合戦略」を策定したものであります。

具体的な戦略の内容については、国・宮城県の総合戦略を踏まえながら、本市が掲げる地方創生及びSDGsの方向性に沿った各種施策の取組の展開を図り、人口減少を抑制し、将来にわたって活力ある住み続けられるまちづくりを目指す内容となっております。引き続き市民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

令和2年3月

東松島市長 渥美 巖

人口ビジョンとは

東松島市の人口の現状を分析し、地域の資源や特色などを踏まえつつ、様々な仮定のもとで2045年までの人口推計を行ったうえで、将来の目標人口を定めたものです。このビジョンにより市民の皆様と本市の人口に関する認識を共有し、人口の維持・発展につながる取組を進めるため活用していきます。



第2期総合戦略とは

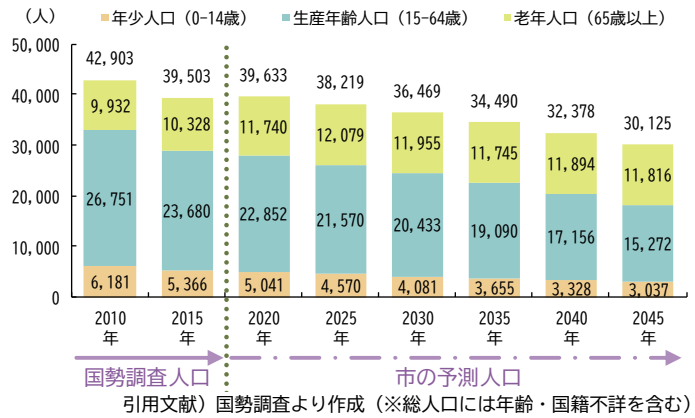
東松島市の人口維持・発展を図り、将来にわたって住み続けられるまちとするため、市の施策の目標や方向性などをまとめたものです。今回の「第2期総合戦略」では、国・宮城県の方向性を踏まえるとともに、東松島市が全国に先駆けて取り組んでいる「SDGs」や地方創生の実現を目指し、令和2年度から令和7年度までの6年間の戦略の基本目標や施策の基本的方向性・主な施策等を記載しています。

東松島市人口ビジョンの概要

人口の状況

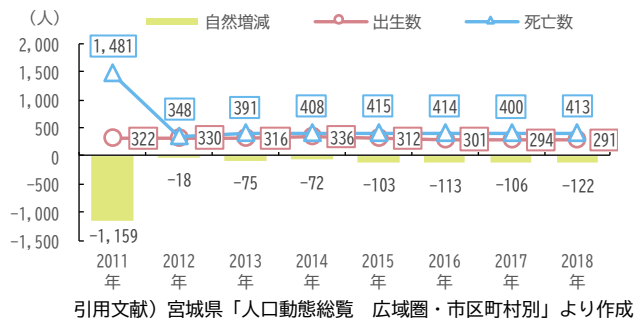
●本市の人口は、長らく人口増で推移していましたが、2005年に減少に転じました。その後、東日本大震災の影響もあり減少が続いていますが、住宅の早期復旧等により、他の被災自治体の人口減少幅と比べ歯止めがかかっています。しかし、長期的な予測では、全国の傾向と同様に人口減少が続く、このまま推移すると2045年には30,125人程度になると予測されます。

■東松島市の総人口の推移と予測



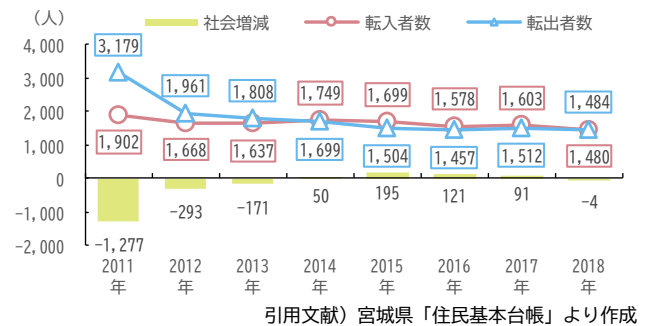
●出生数及び死亡数については、出生数の減少が進行し出生率も減少傾向にあります。引き続き18歳までの医療費の無償化等を行いつつ、更なる子育て支援環境の充実を図り、出生率の増加につなげていきます。

■東松島市の出生数及び死亡数の推移

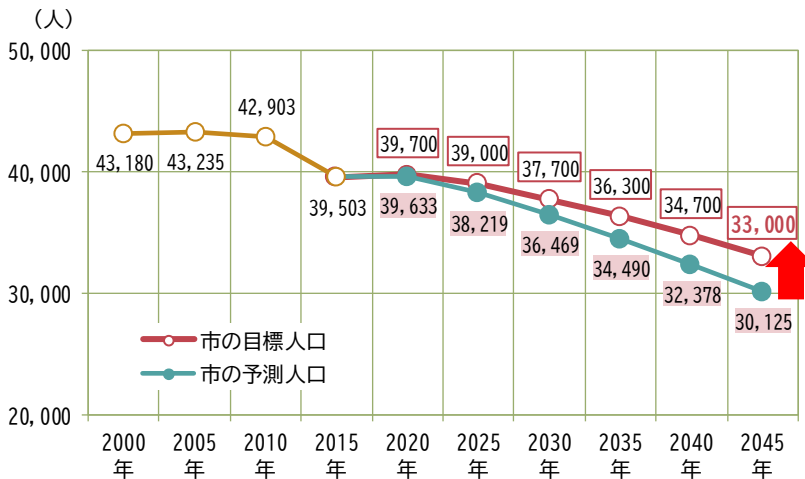


●転入者数及び転出者数については、震災後は住宅再建など震災復旧による転入者数の増加傾向がみられましたが、被災者の集団移転の終息に伴い、転入者数は微減傾向になりつつあります。今後は、企業誘致や産業振興による雇用の場の創出や移住促進を図り、転入者数の増加につなげていきます。

■東松島市の転入者数及び転出者数の推移



将来人口目標



2045年の
予測人口は
30,125人

目標人口を
33,000人とし、
約**3,000人**の増加を
目指します。

第2期総合戦略の概要

戦略 1 東松島市への移住・定住の流れをつくる

基本目標

★2025年度（令和7年度）に向けた6年間の目標

- 東松島市への転入者数 ➡ **300人増加**
- 小学生以下の子どもがいる世帯の転入者数 ➡ **48世帯増加**
- 事業を通して東松島市と関わった人数 ➡ **1,500人**



2020年に開校した全寮制私立高等学校

基本的方向性

引き続き「仙台・石巻にアクセス可能な交通の利便性」、「海も山も楽しめる自然豊かな住環境」といった東松島市の良さを体験してもらうための取組を進め、更にPRを強化する。



就職・転職、結婚、出産や住宅取得を機とした転居の際に東松島市を候補として考えてもらい、実際に転入してもらえるよう、ターゲットに応じた情報発信や、空き家や土地の利活用促進などの取組を強化する。



これまで進めてきた子育て支援・教育環境の取組を引き続き充実させ、時代の変化に対応した学ぶ力・考える力・行動できる力の向上を図り、地域のコミュニティを活かした教育環境の充実を進めるとともに、情報発信を強化する。



国や県、他自治体と連携してまちづくりを進め、観光資源としてブルーインパルスを活かすなど、基地との共存共栄と連携により地域の魅力づくりにつなげる。



定住人口のみならず、多様な地域資源を活かして、交流人口や関係人口の増加を促進していくとともに、地域の活力を維持・向上するための活動人口を創出する。



主な施策

- 転入者の住宅取得支援
- Uターン、Iターン獲得のための、移住・お試し移住・交流に対応するワンストップ窓口の体制の強化
- 関係人口の創出のための受け皿づくり
- 空き家等の新たな需要や利活用を創出していくための「おためし移住」「チャレンジオフィス」等の充実
- 地域連携による社会的・職業的自立に向け、必要となる能力や態度の育成（キャリア教育の充実）
- 産学官の連携によるSDGsの取組を通じた総合学習機会の創出
- 友好姉妹都市・友好都市との地域間交流をはじめ農山漁村交流等を通じた地域住民との交流機会の創出

戦略 2 安定した雇用を創出する

基本目標

★2025年度（令和7年度）に向けた6年間の目標

○市内の新規雇用者数 → 240人

○市内の新設・増設事業所数 → 60事業所



市内に新たに完成した工場の様子

基本的方向性

地域資源を活かした産業について、既存産業との連携強化や、6次産業化を促進する。また、産学官金連携支援により、市内企業等の経営基盤を底上げする。



市内企業等における人材確保に向け、若者・女性・高齢者等の多様な人材の確保・育成による新たな雇用の創出をはじめ、起業・創業、事業承継について、段階に応じた支援を行い、意欲的な人材の活躍を促進する。



企業立地や事業拡張等を促進していくことや、産学官が連携して市内企業等と学生との間における就業マッチングの仕組みを構築することにより、更なる雇用の創出と市内企業等の人材確保のための多面的支援を充実する。



地域経済の活性化や雇用に結び付くよう、東松島市の観光資源を活かして、農林水産事業者や商店街、飲食店、観光事業者、地域と連携しながら更なる観光振興に取り組む。



基幹産業である農業の振興に向けて、体験農業や他分野との連携など、多様な入口からの新規就農者の確保や農業振興を進め、東松島市の農業を後世に引き継いでいく。



これまでの市民協働の取組を活かしながら、「生きがい」、「やりがい」づくりを踏まえつつ、引き続き、地域課題の解決に向けた「コミュニティ・ビジネス」の推進に取り組む。



主な施策

- 開発コストへの支援、販路拡大に向けたマッチング支援
- 創業に係るスクール開催、ビジネスプランの作成などの支援の充実や起業・創業者への活動拠点の創出
- 事業承継支援体制の強化
- 空き店舗等のリノベーションによる遊休資産の利活用の促進
- 企業立地奨励制度による誘致企業支援
- 多様な主体と連携した観光資源の再発掘及び観光コンテンツの開発
- 地域課題の解決を図りながら、若者・女性・高齢者の活躍の場を創出

戦略 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標

★2025年度（令和7年度）に向けた6年間の目標

- 婚姻数 ➡ 1,500件
- 出生数 ➡ 2,400人
- 合計特殊出生率 ➡ 2030年に1.8



夜8時まで延長保育を実施する新しく開所した民間保育所の様子

基本的方向性

健やかな妊娠・出産ができる支援を充実する。



子育て世帯への経済的支援の充実、子育て世代同士が気軽に交流できる機会の創出など、安心して子どもを育てられる環境づくりを進める。



子ども一人ひとりの発達に応じた保育・教育を受けられる環境や、共働き世帯でも子育てしやすい「東松島市」を目指し、民間と連携して、量・質の両面から子育て支援を充実する。



結婚・出産・子育ての支援情報が必要な人に行き届くよう、多様な媒体を活用した情報発信に取り組む。



主な施策

- 不妊治療助成による妊娠・出産に向けた支援の充実
- 妊娠期からの切れ目のない支援相談窓口の充実
- 18歳までの医療費の無償化による子育て世帯への経済的支援
- 民間保育所誘致による夜8時までの延長保育など、共働き世帯が子育てしやすい環境の充実
- 多様な体験・活動の場として「育ちの場」である放課後児童クラブの夜7時までの時間延長等の機能の充実
- 結婚に繋がる出会いの機会の創出

戦略 4 時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る

基本目標

★2025年度（令和7年度）に向けた6年間の目標

- 健康寿命 ➔ **女性 86 歳
男性 81 歳
まで向上**
(現在女性 84 歳、男性 79 歳)
- 地域防災訓練実施率 ➔ **100%維持**
- SDGsに関する市民の認知度 ➔ **60%まで向上**



市内高等学校でのSDGs体験授業

基本的方向性

これまで培ってきた市民協働の基盤を活かし、地域住民や多様な組織が連携して安全・安心で防災に配慮した地域で自分らしく生活することができるまちづくりを進める。



健康づくりの取組を更に広げていくことによって、健康寿命を延ばし、生涯現役で過ごせるまちづくりを進める。



これまで注力してきた食育の取組の継続・充実により、心身ともに健全な食生活の実現と、東松島市の食材の理解と食文化の継承に取り組む。



SDGsの考え方と東松島市の多様な取組を様々な場面で発信し、市民一人ひとりの行動に結び付けていくことで、持続可能なまちづくりを進める。



震災復興で培った他市町村やNPO、企業、諸外国等支援者との「絆」を大切に、次の時代のまちづくりに活かす。



主な施策

- 地域と家庭・学校が連携した防災教育の実践
- スポーツ健康都市宣言をしたまちとして、世代を超えて全ての市民が前向きにスポーツできる環境の創出
- 公共空間をはじめ地域資源を活用した「歩くこと」等の望ましい生活習慣が定着するような、健康づくり活動の促進
- 地元の食材を健康増進に資する形で情報発信し、次世代を担う子ども世代をはじめ、すべての世代に対し、地域全体で支え合うことによる食育の普及
- 市民によるSDGsの取組を促進していくための更なる意識醸成
- 市民活動団体、企業等がSDGsを活用した事業活動のPRする機会を創出

SDGsと総合戦略について

東松島市における持続可能な開発目標（SDGs）の推進は、全国的な人口減少が進む中、各自治体が取組を急ぐ「地方創生」の目指すべき姿である「住み続けられるまちづくり」を基本的な理念としています。

本戦略においても、SDGsの目標を見据え、その達成のための取組との連動を図るものとします。

SDGs（エスディーゼイズ）とは…

2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標「Sustainable Development Goals」の略称です。国連加盟の193か国が2030年までに達成する目標として掲げたもので、持続可能な世界を実現するため17のゴール（目標）と169のターゲットから構成されており、本市は2018年6月15日に全国29自治体のひとつとして当時被災3県で唯一、政府より、持続可能開発目標の達成に向けた取組を先導的に進めていく自治体である「SDGs未来都市」に選定されています。

 1 貧困をなくそう	1 貧困をなくそう あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	 2 飢餓をゼロに	2 飢餓をゼロに 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
 3 すべての人に健康と福祉を	3 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	 4 質の高い教育をみんなに	4 質の高い教育をみんなに すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
 5 ジェンダー平等を実現しよう	5 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児の能力を発揮できるようにする	 6 安全な水とトイレを世界中に	6 安全な水とトイレを世界中に すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	 8 働きがいも経済成長も	8 働きがいも経済成長も すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用および働きがいのある人間らしい仕事を推進する
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱なインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る	 10 人や国の不平等をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう 国内および国家間の不平等を是正する
 11 住み続けられるまちづくりを	11 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする	 12 つくる責任 つかう責任	12 つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
 13 気候変動に具体的な対策を	13 気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	 14 海の豊かさを守ろう	14 海の豊かさを守ろう 海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
 15 陸の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう 森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	 16 平和と公正をすべての人に	16 平和と公正をすべての人に 公正、平和かつ包摂的な社会を推進する
 17 パートナーシップで目標を達成しよう	17 パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発に向けて世界平和・環境問題など世界的問題の解決のための連携を活性化する	 持続可能な東松島市	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS